



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

UAE：ドバイ経済：最近の経済動向 (19日付国営WAM、エミレーツ・ビジネス 247紙)

1. ドバイの自動車輸入・再輸出額 (19日付国営WAM)

ドバイ商工会議所の調べによれば、ドバイの自動車輸入・再輸出額は以下の通り。

- (1) 2010年におけるドバイの自動車輸入額は前年比33%増の200億ディルハム、再輸出額は同11%増の90億ディルハムであった。
- (2) 2005～2010年の6年間における輸入相手国順位とシェアに関しては、1位が日本(44%)、2位が米国(17%)、3位がドイツ(13%)、4位が韓国(8%)、5位が英国(6%)であった。
- (3) 2010年には、ドイツを除く主要輸入国からの輸入が回復・拡大し、前年比で韓国は最大の72%増、日本は39%増、米国は19%増、英国は46%増を記録した。
- (4) 2005～2010年の6年間における再輸出相手国順位については、イラクが1位であり、イラク、イラン、リビアおよびサウジで41%を占めた。特に、イランへの再輸出については、2009年は下落したが、2010年には回復傾向が見られた。
- (5) 日本からの輸入については、2011年1月までは若干の増加傾向が見られたものの、3月の地震で生産量が低下したため、ドバイの日本車輸入は減少が予想されている。

2. ナヒール社の債務返済 (19日付エミレーツ・ビジネス 247紙)

19日、ナヒール社は、同社が商業債権者に対し、50億ディルハムの債務返済を行ったことを発表した。同社はまた、この発表において、今回の返済が同社の資本強化計画において重要な進展を示すものと述べている。